

Visual Mining Studio

バージョン 8.5 新機能のご案内

株式会社 NTT データ数理システム

2019.01

1. 説明変数重要度 アイコンの新設

説明変数と目的変数を設定し、予測対象となる目的変数に対し各説明変数がどの程度重要であるかを評価する機能を新設いたしました。



Extremely Randomized Tree (Extra Trees) と呼ばれるアルゴリズムによりこれを実現しています。モデリングに際してのデータの傾向把握や、次元数の多いデータからの変数選択にご利用いただけます。



importance (5行/2列)		
	col_names	importance
1	年代	1.36
2	職業	1.03
3	世帯構成	0.94
4	性別	0.89
5	居住地	0.78

変数毎の重要度

2. その他の修正点

- 「Tree & Random Forest」アイコンで Random Forest の利用時、学習されたモデルにおける変数毎の重要度出力の指定が可能になりました。

ランダムフォレスト

決定木の数 20

分岐変数候補数 $\sqrt{\text{Nexp(説明変数選択個数の平方根)}}$ 個

サンプル数 100 %

並列実行数 1

追加オプション

予測確率

Out of Bag

重み付き平均

変数重要度出力

ランダムシード

自動

手動 0

- 軽微な不具合の修正を行いました。
- 次のアイコンは廃止されました。
 - Deep Learning
 - Deep Learning 予測後継製品は深層学習デザインツール Deep Learner です。ぜひご利用をご検討ください。
- 次のアイコンは廃止されました。
 - 因子分析 R
 - 線形回帰 R
 - 多項ロジスティック回帰 R
 - 予測 RR ユーザ向け分析プラットフォーム Visual R Platform のご利用をご検討ください。